

資料 1-2 平成 30 年度第一回中浦地区検討会配布資料

平成 30 年度 西海市風力発電導入に向けた地域検討会
(第一回 中浦地区検討会)

- ・日時：平成 30 年 6 月 27 日（水）14：00～16：30
- ・場所：中浦公民館（中浦農業多目的集会所）

次 第

- | | |
|----------------------|-------------|
| 1. 開会あいさつ | 14:00～14:05 |
| 2. 議事 | |
| (1) ワークショップ | 14:05～16:15 |
| ・環境影響について | |
| ・地域振興について | |
| (2) 振り返りと今後の取り組みについて | 16:15～16:30 |

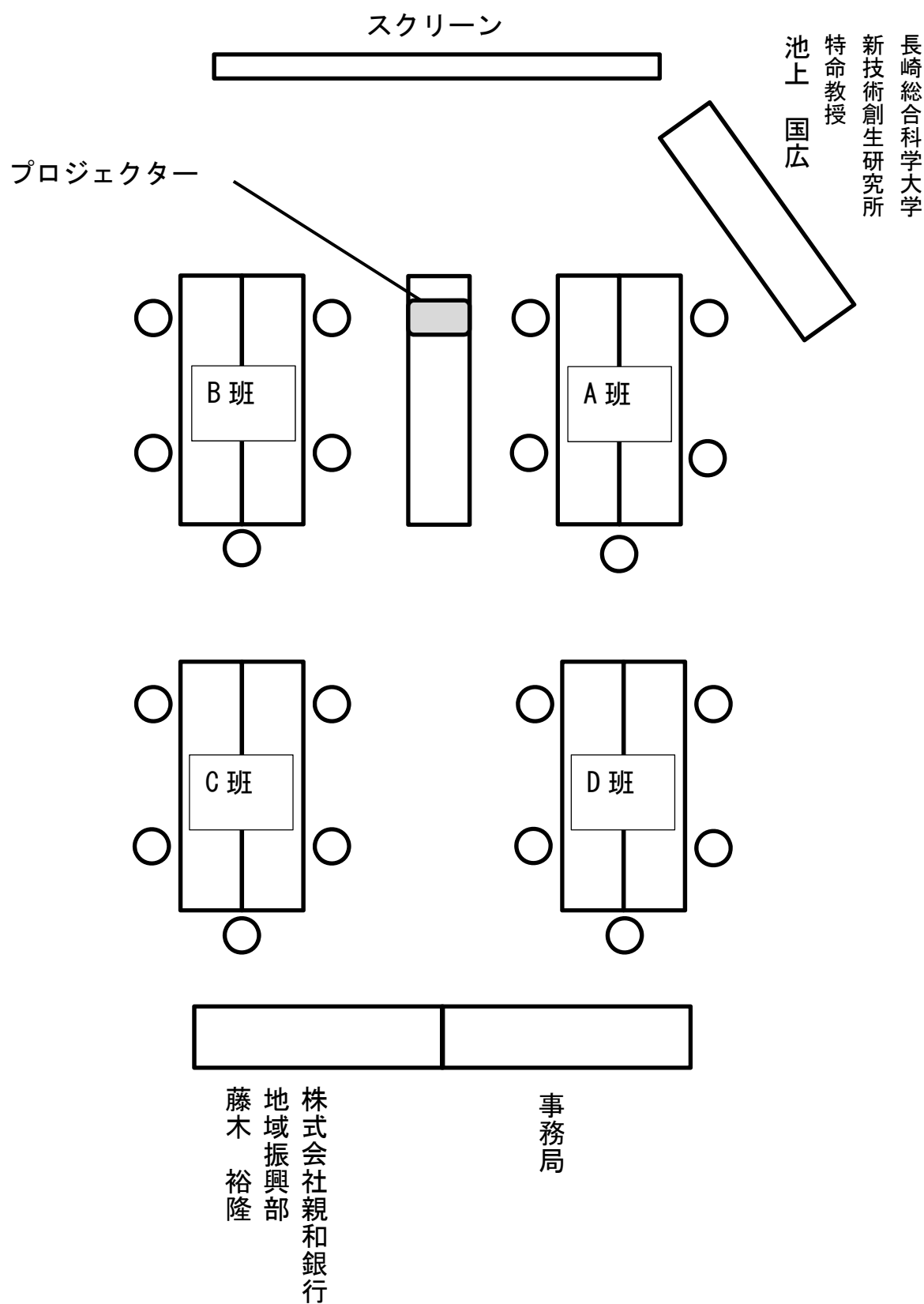
【配布資料】

- | | |
|--------|------------------|
| 資料 1 | 地域検討会委員名簿 |
| 資料 2 | 座席表 |
| 資料 3 | 環境影響について |
| 資料 4 | ワークショップの開催について |
| 資料 4-2 | ワークショップの取り組みについて |
| 資料 5 | ゾーニング結果について |
| 資料 6 | 中浦 MAP |

検討会 委員	区分	所属	役職	氏名
	学識経験者 ・有識者	長崎総合科学大学新技術創成研究所	特命教授	池上 国広
		長崎大学環境科学部	教授	菊池 英弘
		日本野鳥の会 長崎県支部 県希少野生動植物種モニタリング委員会	委員	谷口 秀樹
	住民代表	中浦地区	行政区長	辻 道行
		中浦地区		岸浦 秀次
		中浦地区		中村 幹雄
		中浦地区		山下 銀河
		中浦地区		垣内 英利
		中浦地区		大串 一朗
		中浦地区		松永 勝之輔
		中浦地区		岸本 徹也
	農林漁業	西海市農業委員会	会長	岩崎 信一郎
		長崎南部森林組合 西海支所	技師	柄本 司
		長崎西彼農業協同組合 大瀬戸支店	支店長	北川 公明
	観光、商工、航 路、金融等	NPO法人 西海市観光協会	事務局長	河野 哲朗
		西海市商工会	理事	前川 優也
		黒瀬建設(株)	課長	末永 良友
		(株)親和銀行 地域振興部	部長	麻生 隆宏
	西海市 関係部局	商工観光物産課	課長	本村 真一
		環境政策課	課長	山口 和則
		農林課	課長	辻野 秀樹
西海総合支所		総合支所長	崎谷 秀樹	
			22名	
オブザー バー	県関係部局	長崎県産業労働部 新産業創造課	主任主事	澤辺 雄亮
		長崎県環境部 環境政策課	係長	川口 勉
		長崎県農林部 林政課	主任技師	久保 完二
	発電事業者（陸上）	日本風力エネルギー株式会社		川崎 正幹
事務局	西海市	政策企画課	課長	川原 進一
			課長補佐	森下 直也
			係長	松崎 信也
	アジア航測株式会社	福岡支店 社会インフラ技術課	課長	水口 拓
				久保 龍志
		新百合本社 環境コンサルタント課	主任技師	水谷 義昭
		長崎営業所		藤島 正行

平成 30 年度 西海市風力発電導入に向けた地域検討会（第一回中浦地区検討会）

座席表



環境影響について

～平成 29 年度検討会におけるご意見と対応状況～

1. 平成 29 年度地域検討会における意見と対応状況

1) 【騒音・低周波音】

意見等	意見に対する対応状況
・騒音・低周波音による影響が一番懸念されるが、そういった影響が考慮された事業であれば問題ないと考ええる。 ・今後の事業計画によるだろうが、風車が増えても騒音の影響は問題ないものなのか。騒音と風車の大きさや数との関係について具体的に教えていただきたい。 ・風力発電機から発せられる低周波音にはどのような人体影響があるのか。	第 1 回勉強会（平成 30 年 1 月 29 日）において、風力発電機からの騒音・超低周波音の影響について、説明。 ※第 1 回勉強会での説明事項 ・日常生活内にも超低周波音が存在し、風力発電機からの超低周波音についても特段、大きなものでは無いこと ・騒音や超低周波音の評価基準 ・風力発電機が稼働している状況での騒音・超低周波音の状況
・伊佐ノ浦公園のコテージは夏休み等非常に利用客が多いが、候補エリアが非常に近く、騒音による影響が懸念される。施設や利用客に対する影響を検討していくべきではないか。	第 1 回勉強会（平成 30 年 1 月 29 日）において、風力発電機からの騒音・超低周波音の影響について、説明。 今後、地域貢献策の検討と合わせて、どの程度の騒音影響が許容されるかは協議が必要。

2) 【水源】

意見等	意見に対する対応状況
・候補エリアの中に谷等で集めた水を各地区へ配水している水路が存在する。事業の実施により水路へ影響が出ないか心配である。	事業実施に際しての懸念事項となる。今後、事業の具体化に際しての留意事項として、整理。

3) 【鳥類】

意見等	意見に対する対応状況
・西海市はアカハラダカの主要な渡りのルートとなっている。またツル類に関して、ほぼ全世界のナベヅル 1 万羽程度は 2 月～3 月にかけて鹿児島から北へ移動するがその際に西海市の上空を通る。 - 保護する立場から、西海市は自然豊かな場所であるので慎重に事業を進めていただきたい。	事業実施に際しての懸念事項となる。今後、事業の具体化に際しての留意事項として、整理。

4) 【景観】

意見等	意見に対する対応状況
・西海市観光協会では自然景観を売りにしているが、そこに人工物が建設されることに対する影響を懸念している。自然景観と調和できなければ問題であるが、新たな観光資源となりいい方向へ進めていければ良いと考える。 ・景観については大きな影響は生じないのではないかと考える。むしろ夕日が差し込むような時間帯は、きれいに見えるのではないかと考える。 ・人工物であっても壮観な景色や、そういった演出があれば観光面や景観を評価する上でいい影響があるのではないかと考える。 ・風力発電所を観光の目玉にしたい。そういう施設、名勝になったら良いという希望はある。	今後の地域貢献策等の検討に際しての課題として、整理。

第一回中浦地区検討会について ～ワークショップの流れについて～

資料4

【ワークショップの説明】 14時05分～14時15分（10分）
ワークショップ流れの説明と自己紹介



【環境影響について】 14時15分～14時30分（15分）
懸念される環境影響について



【地域振興について】 14時30分～16時15分（105分）
地域の将来像の検討やそれに対して個人や団体でできること、課題の検討、発表

1

第一回中浦地区検討会について ～ワークショップ開催について～

資料4

地域検討会の検討内容

「環境保全」

「**地域貢献**」

「合意形成」

本日の主な検討内容

【地域貢献の検討内容】

・ 地域の将来像や課題、要望等に対して風力発電がどのように貢献できるのか考える。



まずは皆様のご意見を共有・確認するために
ワークショップを開催

例）：「多くの人が訪れる地域にしたい」（将来像）
「バスの便数を増やしてほしい」（要望）

大きな目標や将来像でなくても、普段困っている事等でも構いません

2

第一回中浦地区検討会について ～ワークショッププログラム～

資料4

- ・セッション①：地域の将来像や課題、要望等の検討（個人）
- ・セッション②：セッション①の共有・整理、セッション③のテーマ決め（グループ）
- ・セッション③：セッション②で決めたテーマに対して地域や各団体でできること、利用できる資源、課題の検討（個人）
- ・セッション④：セッション③の共有・整理、発表準備（グループ）
- ・セッション⑤：発表（グループ）

3

第一回中浦地区検討会について ～位置づけと今後の取り組み～

資料4

第一回中浦地区検討会（H30年6月27日）
・ワークショップの開催



第二回合同検討会（H30年10月頃）
・地域振興策等（事務局案）の検討



第二回中浦地区検討会（H30年11月頃）
・地域振興策等の最終確認



第三回合同検討会（平成31年1月頃）
・地域振興策等の確定

・地域振興策等（事務局案）例

環境保全に対する個票（例示）※

宿題1：「風力発電機から生じる騒音及び低周波音の影響軽減への取り組み」	
区分	作成日：平成30年10月08日 Ver.1
地域の課題・懸念	風力発電機から生じる騒音・低周波音の影響を懸念する。特に伊佐ノ浦公園の利用者に対する影響が心配である。
取り組みの目的	風力発電機から生じる騒音・低周波音の影響について、調査結果なども地域の解明に努めることによる影響の軽減を図ります。
取り組み内容	風力発電機から生じる騒音・低周波音に対して、まず計画段階で騒音・低周波音の予測評価を実施します。また稼働後においてもモニタリング調査を行い、各取り組みについて地域へ報告を行います。
実施場所	中浦地区など。
地域	伊佐ノ浦公園
各団体の取組	事業計画段階での予測評価と、稼働後のモニタリングの実施と報告。
取組内容	伊佐ノ浦公園
ロードマップ	計画段階
地域	伊佐ノ浦公園
取組内容	計画段階の風力発電機から生じる騒音・低周波音に対して、調査予測評価の実施。
取組内容	計画段階の風力発電機から生じる騒音・低周波音に対して、モニタリング調査の実施。
取組内容	計画段階の風力発電機から生じる騒音・低周波音に対して、モニタリング調査の実施。



4

第一回中浦地区検討会について

資料4

皆さんとワークショップを開催し、意見交換をすることで、

「地域」 「西海市」 「発電事業者」

の考えを共有し、それぞれが納得できる「納得解」＝地域振興策等を見つける。

風力発電事業をきっかけとし、今後様々な地域振興策等を進めていくことで、より良い地域づくりに繋げていく。

ぜひ皆様の積極的なご意見をお聞かせください。

ワークショップの取り組み内容について

ワークショッププログラム 14 時 05 分～16 時 15 分

【ワークショップの説明】

14 時 05 分～14 時 15 分（10 分）

ワークショップ流れの説明と自己紹介

【環境影響について】

14 時 15 分～14 時 30 分（15 分）

懸念される環境影響について

【地域振興について】

セッション①14 時 30 分～14 時 40 分：10 分

地域の将来像等の検討（個人）

セッション②14 時 40 分～15 時 00 分：20 分

地域の将来像等の整理（グループ）

セッション③15 時 00 分～15 時 10 分：10 分

地域の将来像等に対して地域や各団体でできること、できそうなこと、利用できる資源、課題の検討（個人）

セッション④15 時 10 分～15 時 35 分：25 分

地域の将来像等に対して地域や各団体でできること、できそうなこと、利用できる資源、課題の共有・整理と発表準備（グループ）

セッション⑤15 時 35 分～16 時 15 分：40 分

発表（4 班×10 分（質疑応答含む））

【地域振興について】ワークショップの取り組み内容

セッション①

時間	14 時 30 分～14 時 40 分：10 分
テーマ	地域の将来像等の検討
主体	個人
アクティビティ	1). 地域の将来像（地域をどうしたいか、どのような地域にしたいか）や困っていること等についてまずは個人で考えます。 ※基本的に一つの付箋に一つの意見を記入してください。 ※場所を示すような情報がありましたら、セッション②で地図上に青いシールを張っていただくか、もしくは地図に青ペンで直接書き込んでください。
目標	・地域の将来像等の付箋への書き込み

アクティビティ 1) のイメージ図

地域全体でメリット
を享受できるように
したい

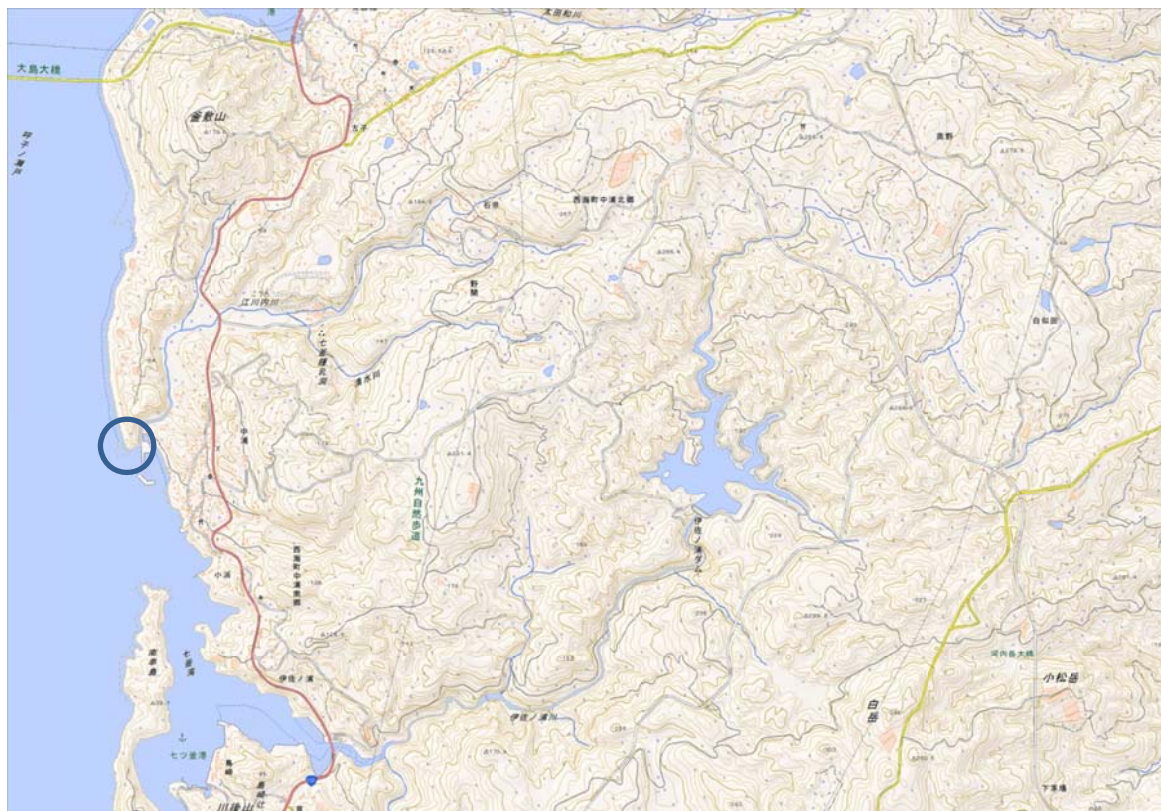
A さん検討事項

地域を訪れる人を増
やしたい

B さん検討事項

南風崎の独特な海岸
風景をもっと知って
もらいたい

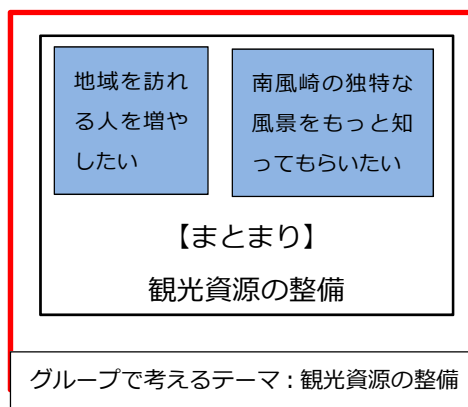
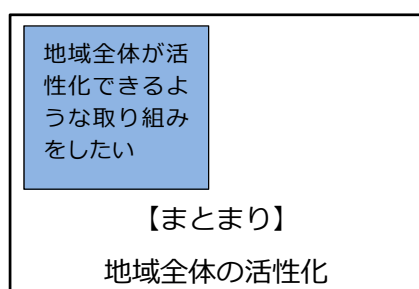
C さん検討事項



【地域振興について】ワークショップの取り組み内容
セッション②

時間	14 時 40 分～15 時 00 分：20 分
テーマ	地域の将来像等の整理
主体	グループ
アクティ ビティ	1). セッション①で記入した各付箋の内容を一人ずつ発表します。場所を示すシールがあれば地図に張り、面的な情報があれば地図に書き込んでください。 2). 1)の作業を順番に行っていきます。 3). 各付箋の【まとめり】をグループで考えます。 ※整理することが難しい意見は「その他の意見」等として整理していただいても構いません。 4). セッション③で検討するテーマをグループで決めます。 （【まとめり】例）観光資源の整備
目標	・個人で考えた意見等の共有と整理 ・セッション③で取り組むテーマの決定

アクティビティ 1)～4)のイメージ図

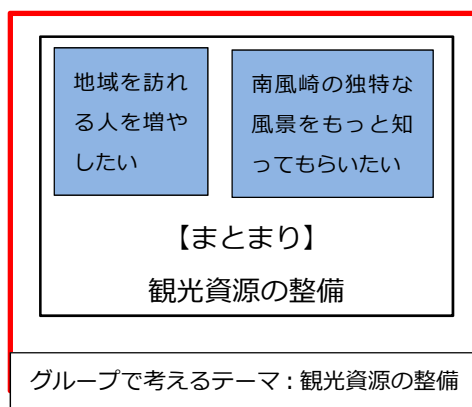


各付箋の整理と【まとめり】の整理イメージ

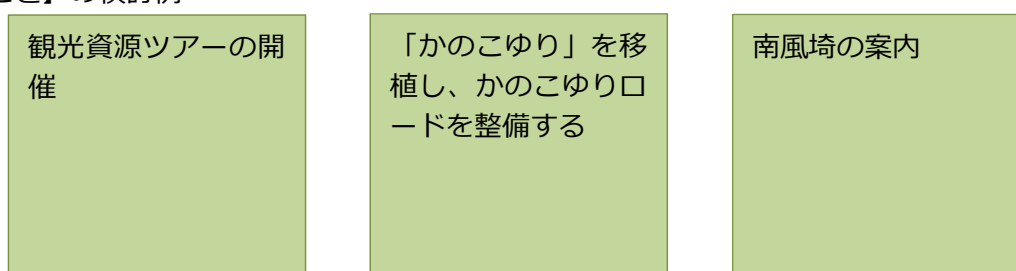
【地域振興について】ワークショップの取り組み内容

セッション③

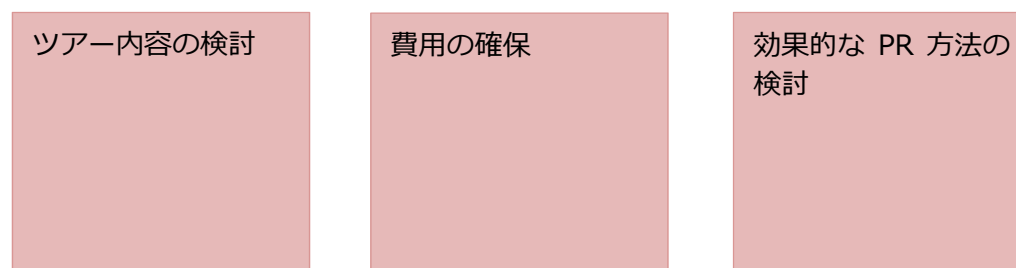
時間	15 時 00 分～15 時 10 分 : 10 分
テーマ	地域の将来像等に対して地域や各団体でできること、できそうなこと、利用できる資源、課題の検討
主体	個人
アクティビティ	1).セッション②で決定したテーマに対し、個人や所属する団体としてできることとそれに対する課題を考えます。 2).「できること」は緑の付箋に、「課題」はピンクの付箋に書き込んでください ※位置の情報については、「できること」は緑のシールもしくは緑のペンで、「課題」は赤のシールもしくはペンで、この後のセッション④で地図上に場所を示してください。
目標	・地域の将来像等に対してできることや課題の付箋への書き込み



【できること】の検討例



【課題】の検討例



A さんの意見

B さんの意見

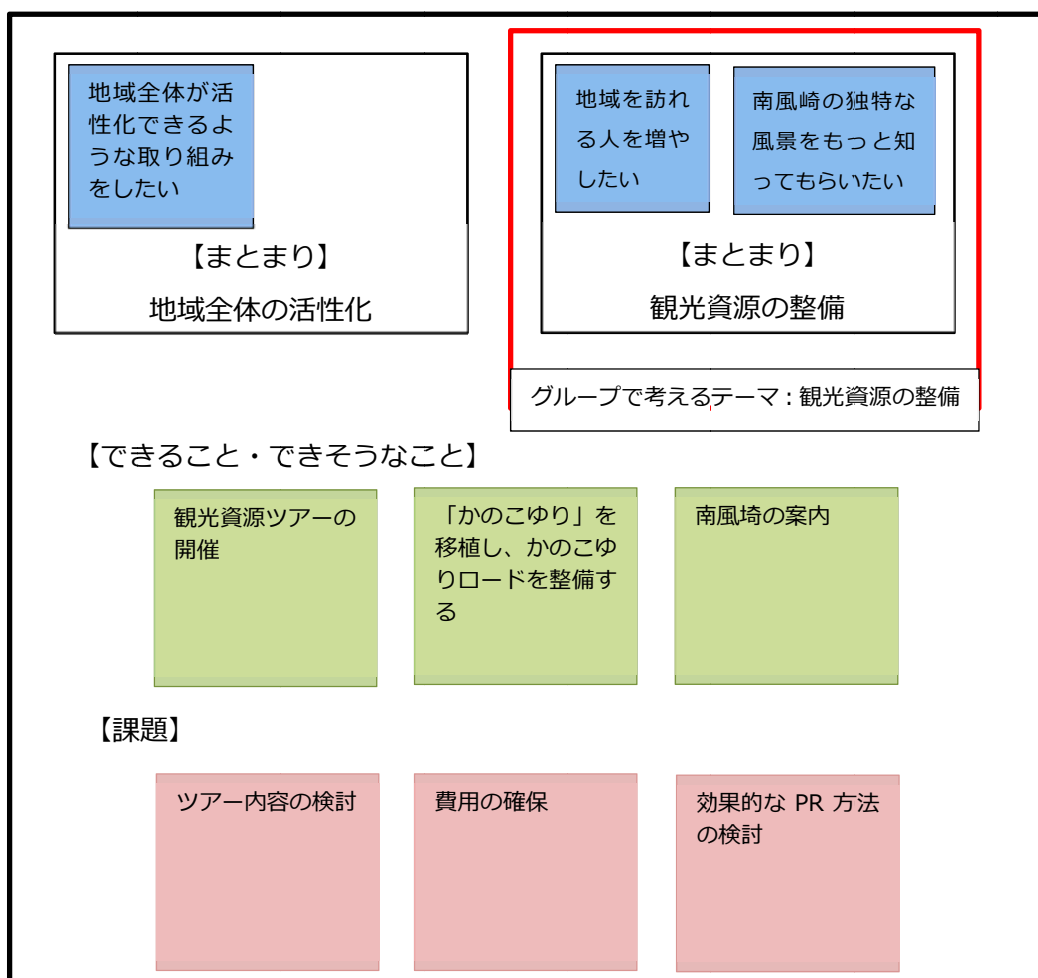
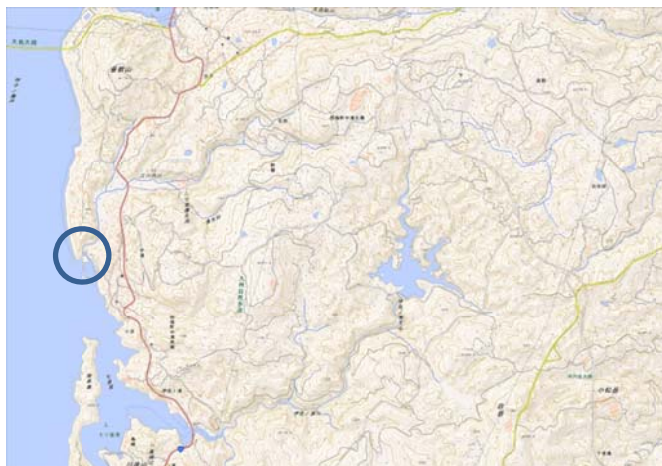
C さんの意見

【地域振興について】ワークショップの取り組み内容

セッション④

時間	15 時 10 分～15 時 35 分 : 25 分
テーマ	・地域の将来像等に対して地域や各団体でできること、できそうなこと、利用できる資源、課題の検討の共有・整理 ・発表準備
主体	グループ
アクティビティ	1). セッション③で検討した個人の意見を一人ずつ発表してください。 ※場所を示す情報についてはシールもしくはペンで地図上に情報を示してください。 2). グループでこれまで検討した結果を模造紙に整理し、発表内容を考えてください。 (整理例) 地域の将来像について検討しまとまりを整理したところ、「地域全体の活性化」や「観光資源の整備」といったまとまりに整理されました。 このグループでは「観光資源の整備」について検討することに決め、個人や所属する団体でどういったことができるか、また課題について検討したところ、地域全体を巡るような観光ツアーの検討（ツアー内容として「かのこゆりロード」を新たに整備し、南風崎の案内を行う）ができるのではないかと考えました。ただし、課題としてツアー内容の詳細な検討や、費用の確保、効果的な PR 方法の検討といった課題が挙げられました。
目標	・グループで決めたテーマに対するできること・課題の共有 ・グループの検討内容の整理、発表準備

【地域振興について】ワークショップの取り組み内容
(整理例)

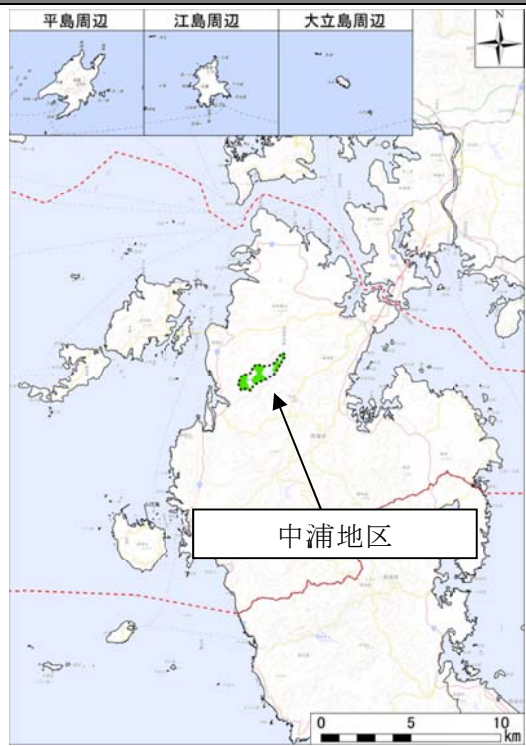
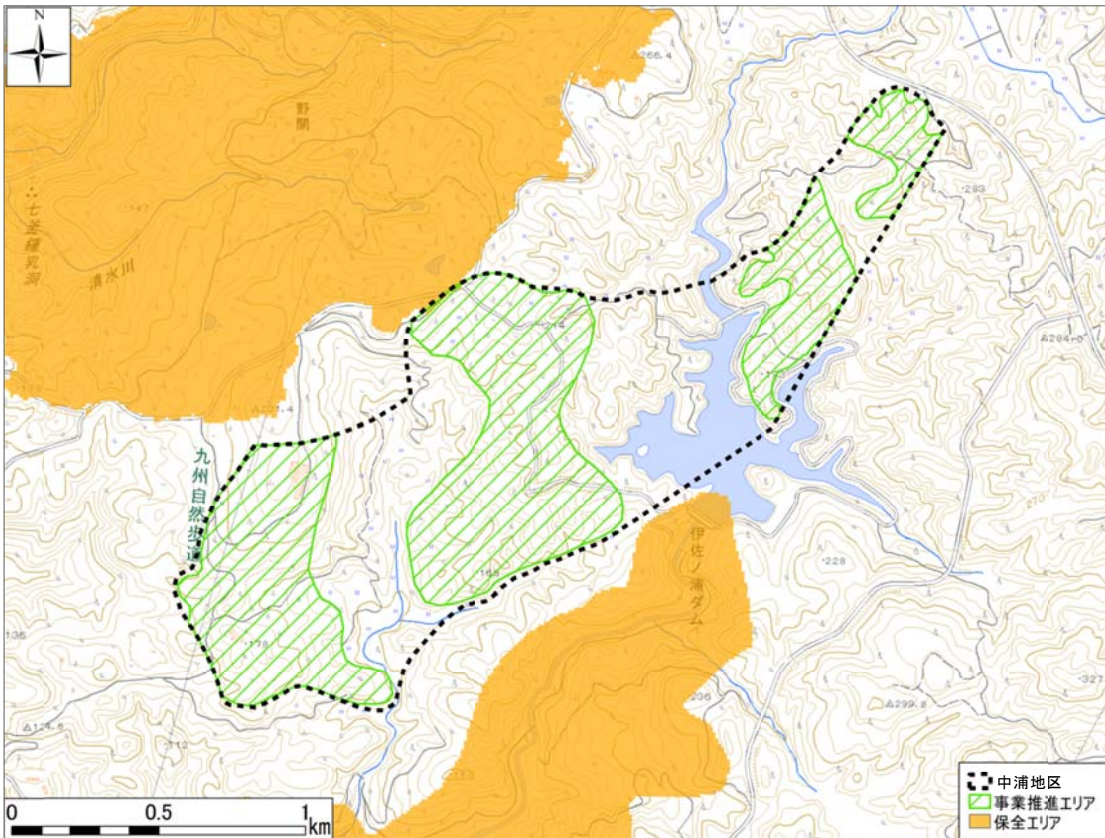


検討結果の整理例

【地域振興について】ワークショップの取り組み内容
セッション⑤

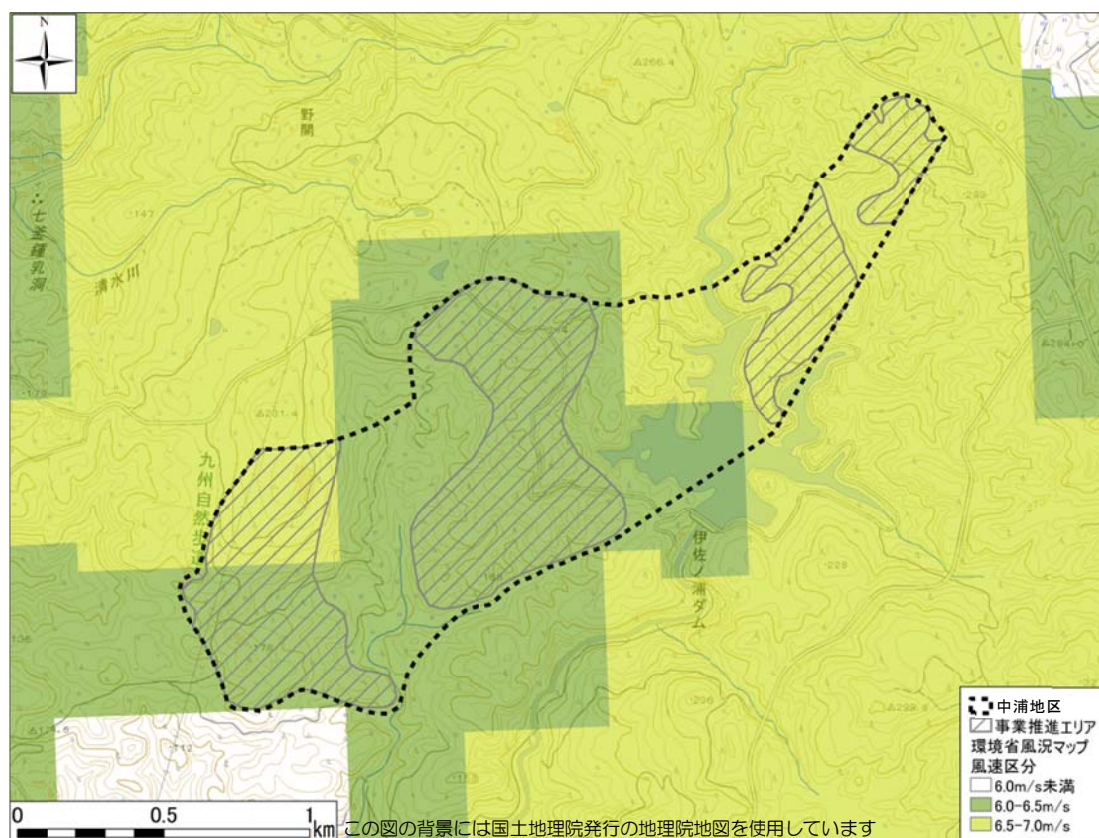
時間	15 時 35 分～16 時 15 分 : 40 分
テーマ	発表（4 班×10 分 発表 5 分、質疑応答 5 分）
主体	グループ
アクティビティ	1). 検討結果の発表と、他グループが行う発表への質疑応答を行います。
目標	・自分のグループの結果発表 ・他のグループの発表に対するフィードバック

事業推進エリア（中浦地区）の概要

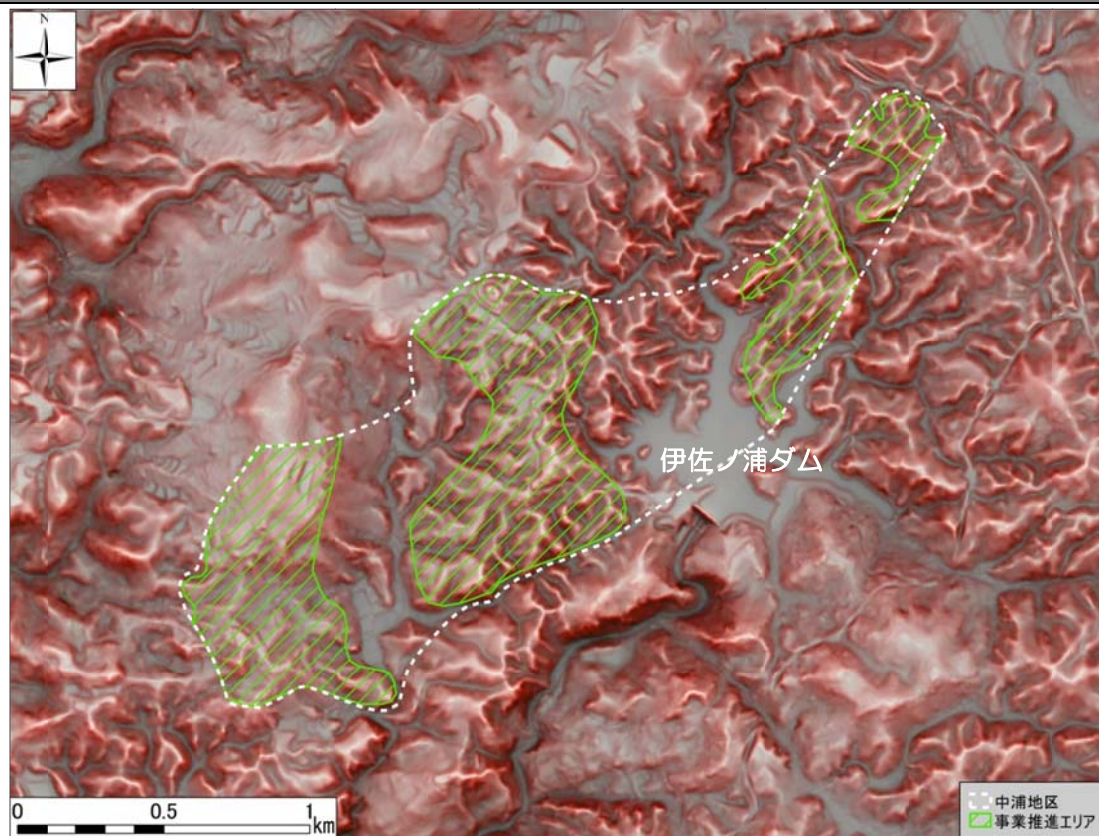
エリアの名称	
事業推進エリア①：中浦地区	
エリアの概要	ゾーニング範囲内での位置
- 中浦一帯の事業推進エリアをまとめたエリア。 - エリアの面積は 1.1km²である。 - 西彼杵半島の北西部に位置し、エリア内には伊佐ノ浦ダムが存在している - エリアの北側と南側に保全エリアが存在する。（北側の保全エリアは七釜鍾乳洞地下水系の保護区域、南側の保全エリアは西彼杵県立自然公園区域である。） - 環境省の風況マップでは風速 6.0～7.0m/s の範囲である。	
事業推進エリア①：中浦地区 全体図	
	

図の背景には国土地理院発行の地理院地図を使用しています

風況の状況



地形の状況

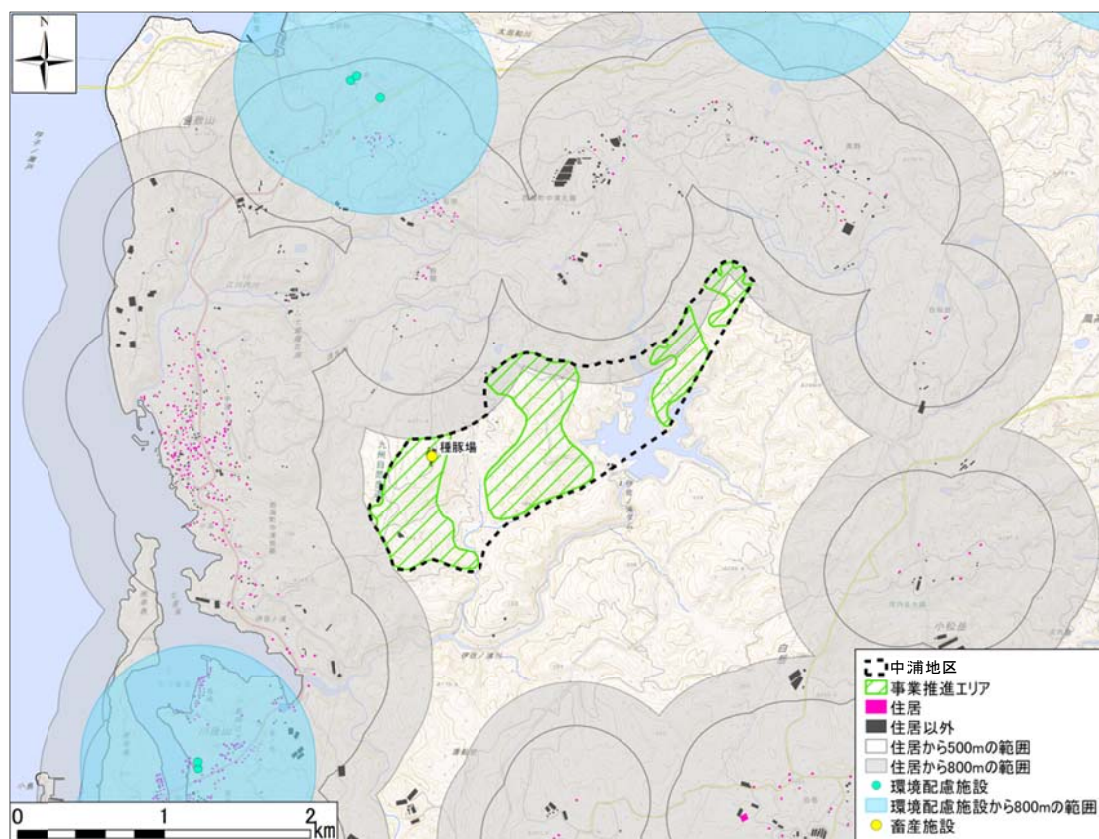


事業推進エリアにおける留意事項(目標：環境保全)

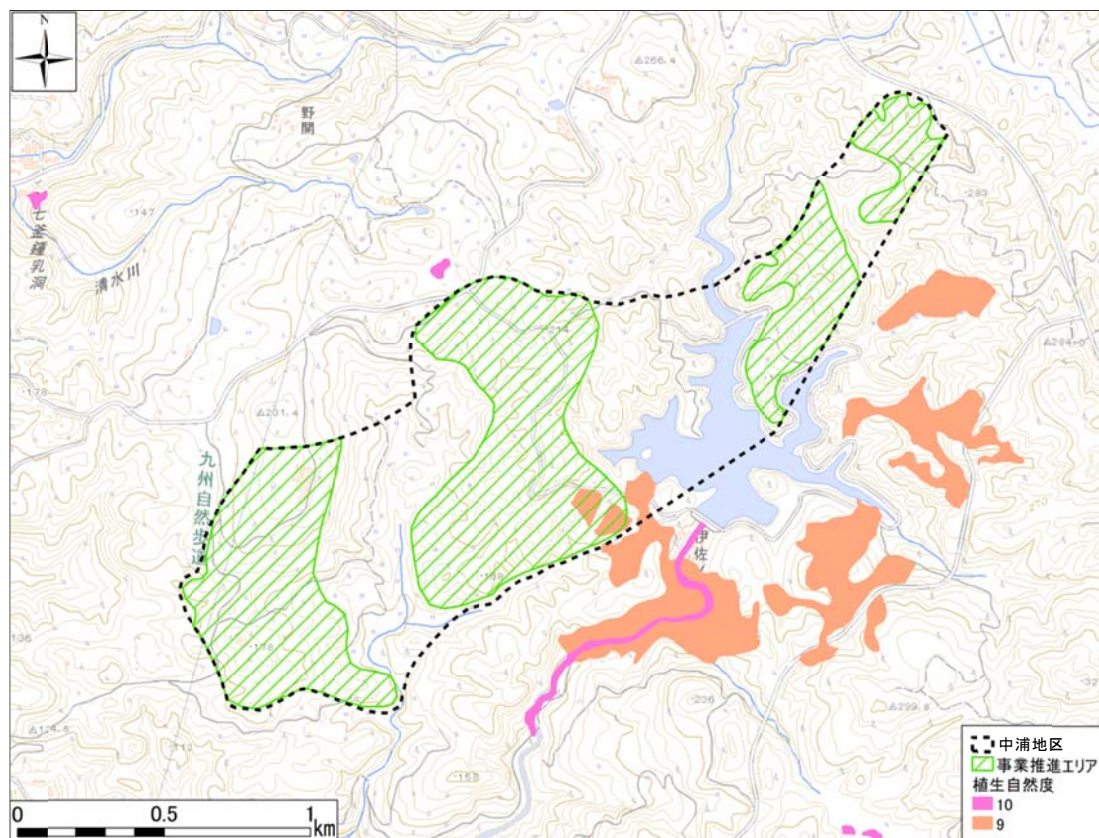
項目		留意すべき事項
騒音・低周波音、風車の影	住居	エリアから最近傍の住居は、北西側の約 600m に位置する。事業を検討する際に事業者は、近傍の住居に対して風車から発せられる騒音・低周波音や設置による影の影響について検討する必要がある。
	環境配慮施設 (学校、病院、福祉などの環境に配慮すべき施設)	エリアから最近傍の環境配慮施設は、南西約 1,900m に位置する。事業を検討する際に事業者は、風車から発せられる騒音・低周波音や設置の影について、環境配慮施設、畜産施設への影響について検討する必要がある。
	養鶏場・牛舎等の畜産施設	畜産施設は、エリア内に 1 箇所の種豚場が存在する。事業を検討する際に事業者は、施設および作業従事者に対して留意する必要がある。
動物	主要な渡り鳥のルート	調査で確認されたツル類の渡り状況は、飛行高度が地上から 160m 以上であり、風車の高さを 160m 未満にすれば影響は軽微であると考えられる。ただし、鳥類の渡り状況は、気象条件や渡り鳥個体の状態により、常に同一の経路や高度をとることは限らないため、事業を検討する際に事業者は、渡り鳥に関しての詳細な調査、予測及び評価を実施する必要がある。
植物	自然度の高い植物群落 (環境省 1/2.5 万現存植生図)	エリア内には、植生自然度^{※1}が 9 の植物群落が存在する。事業を検討する際に事業者は、土地改変による影響に留意する必要がある。 ※1 植物自然度とは、植物社会学的な観点から植物群落の自然性がどの程度残されているかを示す指標であり、植物群落ごとに 1～10 の 10 段階に分けられる。植物自然度が 9 や 10 の植物群落は、自然性が多く残っていて、重要な植物群落として扱われることが多い。
景観	主要な眺望点	エリア周辺には、長尾城跡や中浦ジュリアン記念公園などの眺望点が存在する。事業を検討する際に事業者は、これら以外の眺望点にも十分留意し、設置する風車に対して、各眺望点からの視認可能性、眺望特性（主要な眺望方向、景観要素など）、支障の程度を確認し、支障の程度に応じた配慮を検討する必要がある。
	眺望景観	
人と自然との触れ合い活動の場	九州自然歩道 (環境省長距離自然歩道)	エリア内には、九州自然歩道が存在するため、事業を検討する際に事業者は、土地改変や資材運搬などによる影響に留意する必要がある。
	野外レクリエーション施設	エリア内に位置する伊佐ノ浦公園は、自然との触れ合い活動が出来る施設である。事業を検討する際に事業者は、施設の利用（利便性の低下など）に対する影響を検討する必要がある。

項目	情報	留意すべき内容
事業計画	民有林保安林	エリア内には、解除が困難とされる傾斜度 25° 以上の一級指定地の民有林保安林が存在する。事業を検討する際に事業者は、保安林の位置、種類、指定状況を確認し、風車の配置や取り付け道路等の地形改変区域が含まれないように留意するとともに、関係者と協議する必要がある。
	地域森林計画における森林経営計画	エリア内には、計画が作成されている森林が存在する。事業を検討する際に事業者は、風車や取り付け道路等の配置検討にあたり当該計画の詳細を把握し、関係者と協議する必要がある。
	鉱業権区域	エリア内には、鉱業権区域が存在する。事業を検討する際に事業者は、鉱業権の内容について把握し、必要に応じて関係者と協議することに留意する。
	水道利用	エリア内には、西海市水道水源保護条例で指定されている水源保護区域の既存水源（伊佐の浦川砂防ダム上流域；農業用の伊佐の浦ダムは伊佐の浦川砂防ダム上流域に位置している）が存在する。事業化の際に事業者は、西海市水道水源保護条例に則り、関係部局と協議し、必要に応じて関係地域に対して説明会の開催等の措置を取る。
	電波障害	エリア内はテレビ受信への影響が懸念される地域である。事業を検討する際に事業者は、放送波中継、テレビ受信者への放送電波受信に対する影響について検討し、関係者と協議する必要がある。
	埋蔵文化財	エリア周辺では、「石鍋」遺跡が存在する可能性がある。事業を検討する際に事業者は、土地改変する範囲が確定した段階で、西海市教育委員会へ調査の実施について相談する必要がある。
その他	農地	エリアの北側にはみかん畑等の農地が存在する。事業化の際に事業者は、関係者と協議するとともに、農業従事者への影響についても留意する必要がある。
	累積的影響	事業推進エリア内外に、別事業の風力発電施設が計画された場合には、事業者はそれらの風力発電施設の影響も含め、環境影響を検討する必要がある。

事業を進める上での留意事項（騒音・低周波音、風車の影）

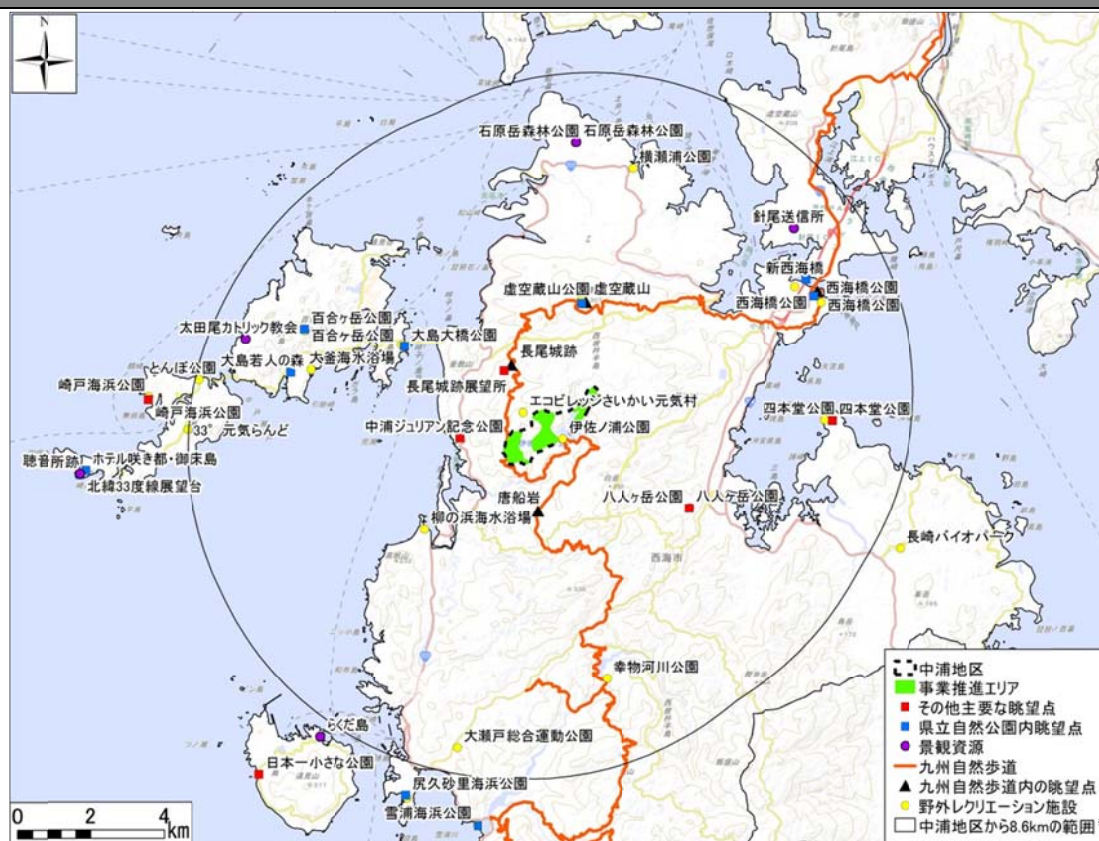


事業を進める上での留意事項（植物）

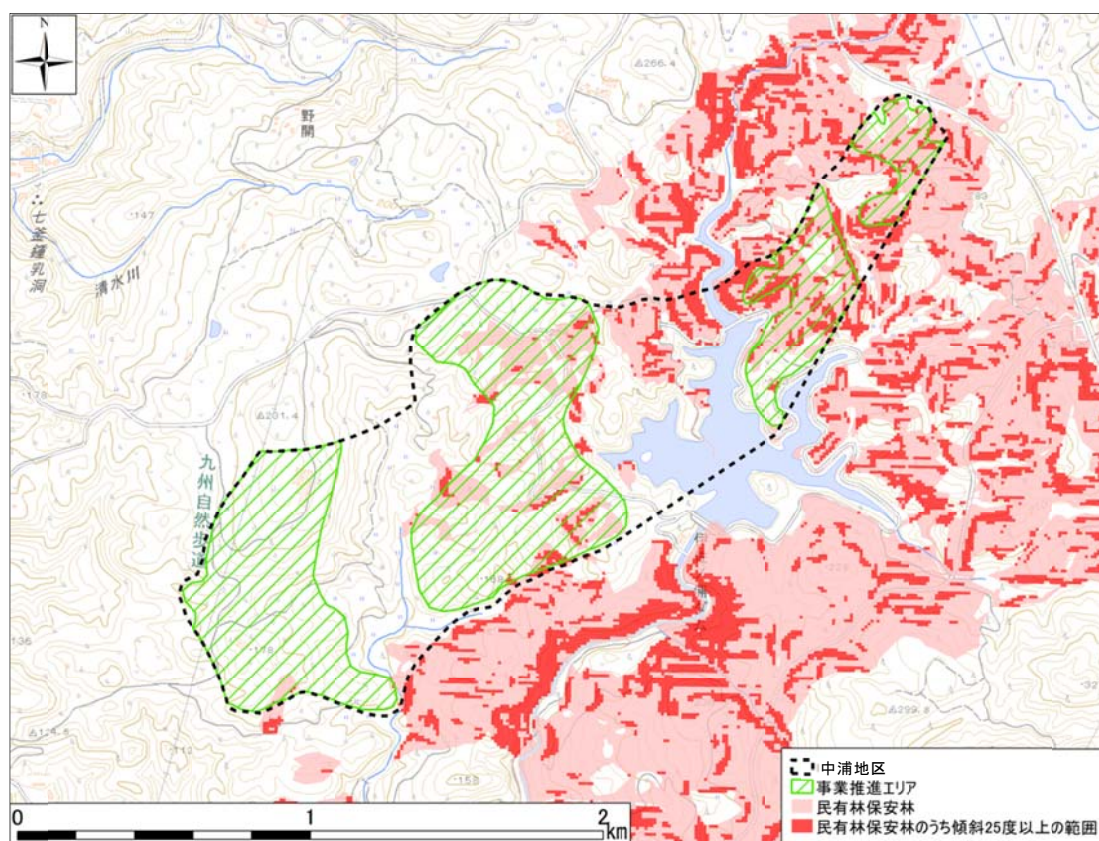


図の背景には国土地理院発行の地理院地図を使用しています

事業を進める上での留意事項（景観、人と自然との触れ合い活動の場）

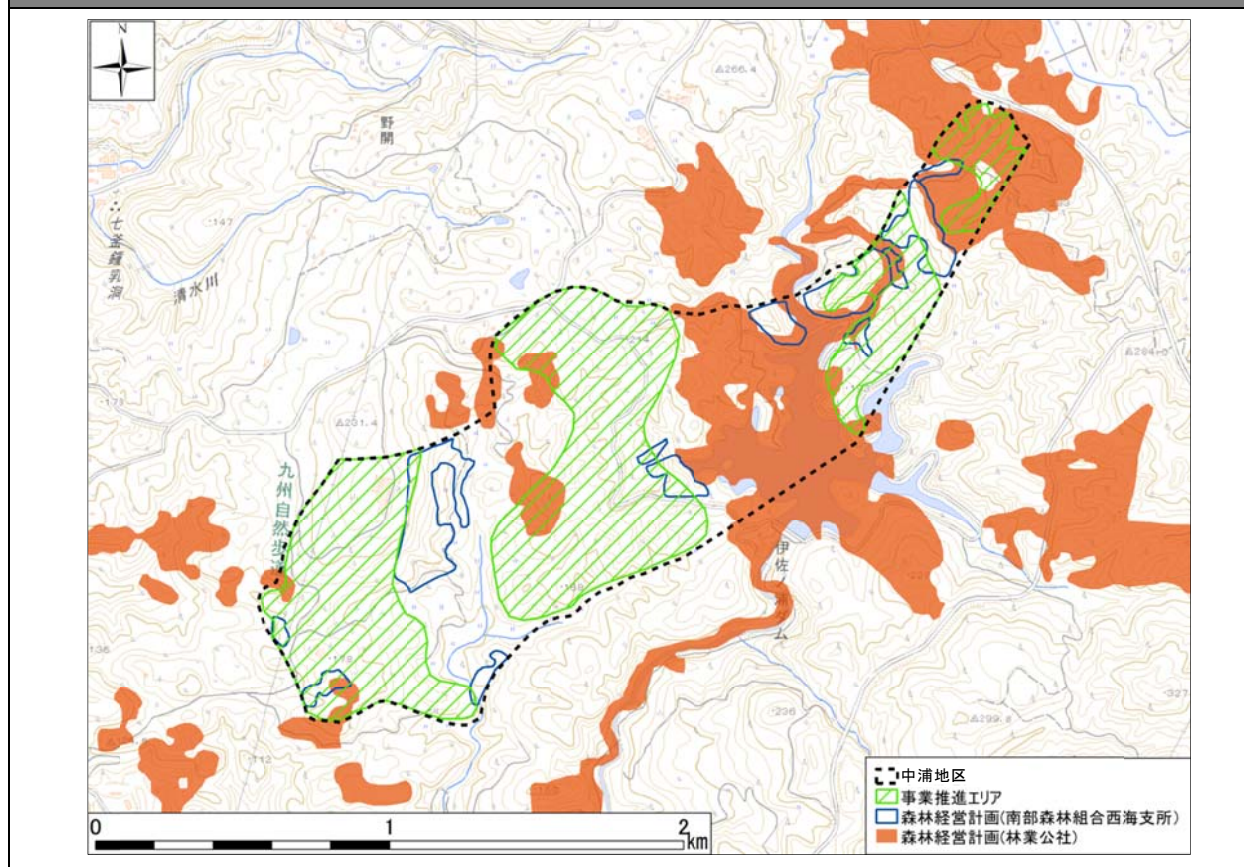


事業を進める上での留意事項（事業計画：民有林保安林）



図の背景には国土地理院発行の地理院地図を使用しています

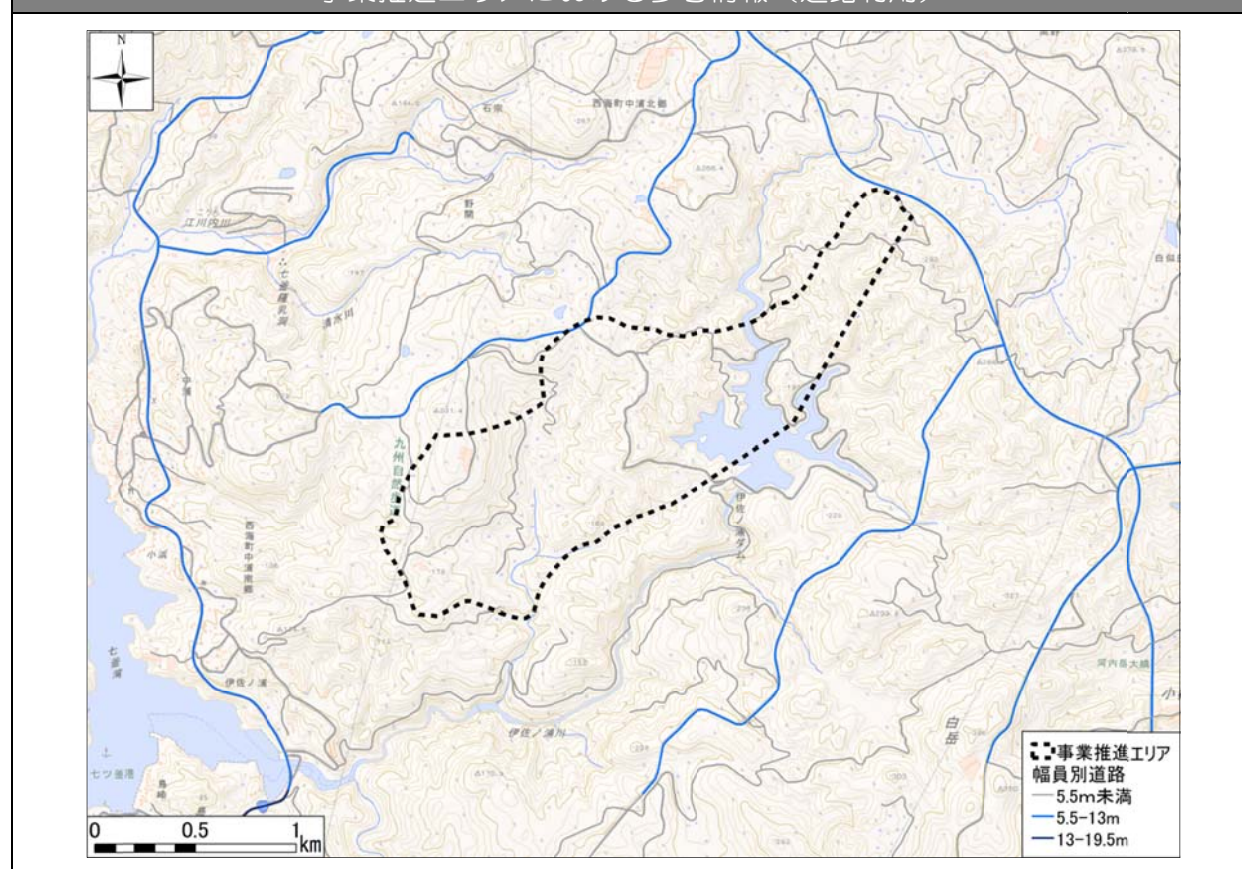
事業を進める上での留意事項（事業計画：地域森林計画、森林経営計画）



事業推進エリアにおける参考情報

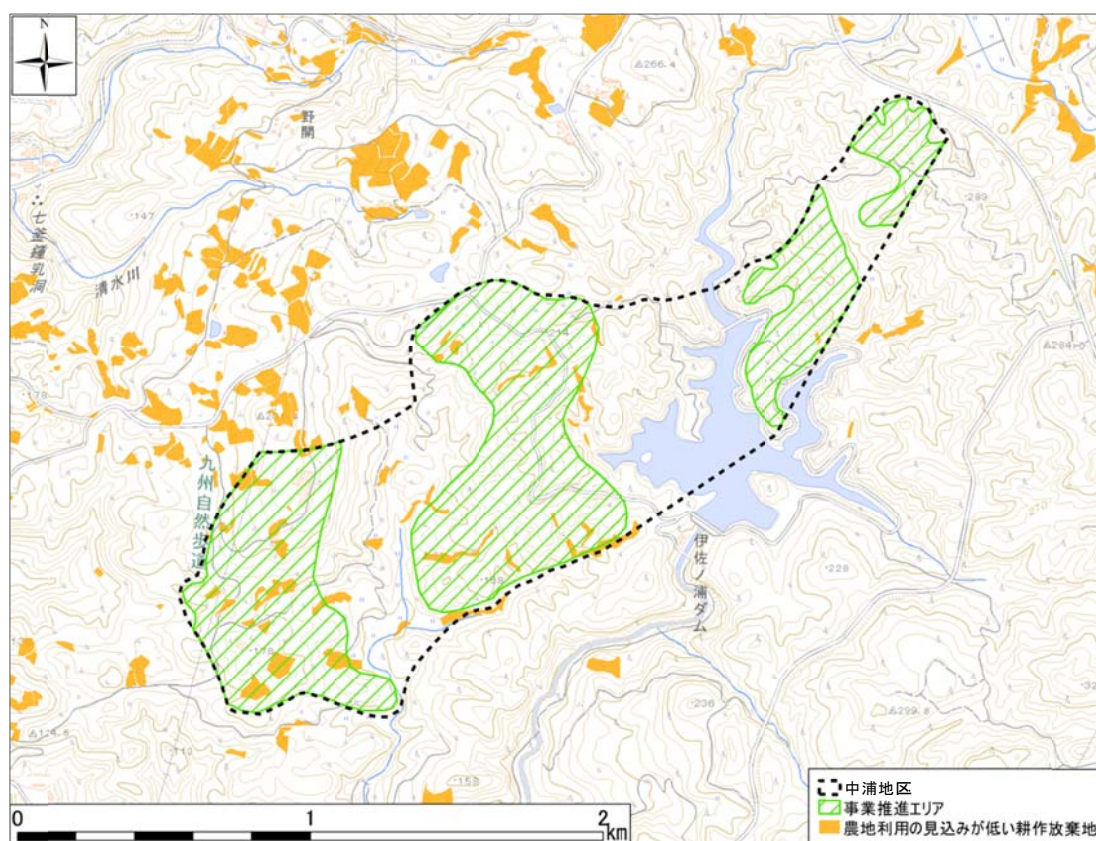
項目	エリア周辺の状況
道路利用	エリアの周囲には幅員 5.5m 未満の道路や 5.5m－13m 未満の道路が存在している。
耕作放棄地	エリア内には利用見込みの低い耕作放棄地が点在している。事業化の際には風力開発と一体的に土地の有効活用を検討することが可能である。
送電線	エリアの最寄りには電圧 66 kV の面高瀬戸線が通っている。
発電所・変電所	エリアから最近傍の発電所は松島火力発電所が南西約 10.6km の位置に、変電所は面高変電所が北約 4.3km の位置に存在する。

事業推進エリアにおける参考情報（道路利用）

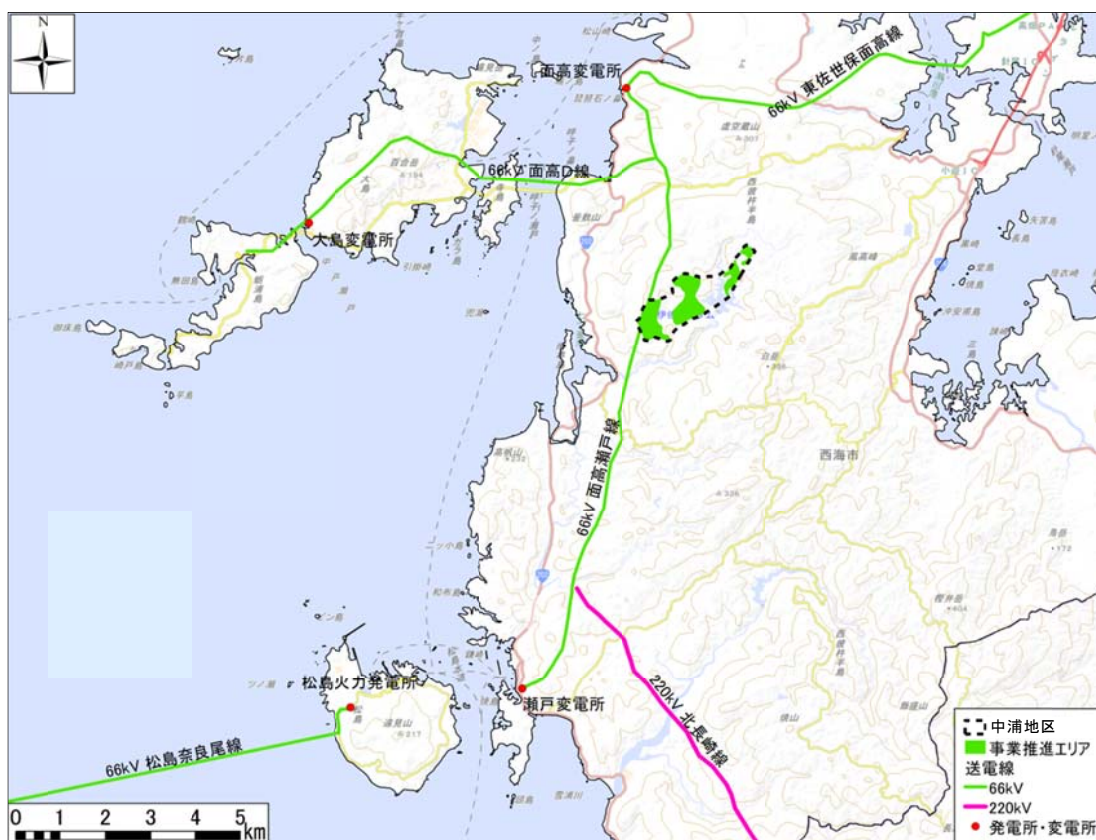


図の背景には国土地理院発行の地理院地図を使用しています

事業推進エリアにおける参考情報（利用見込みの低い耕作放棄地）



事業推進エリアにおける参考情報（送電線、発電所・変電所）



図の背景には国土地理院発行の地理院地図を使用しています

地域との共存・共栄策のメニュー（目標：地域貢献）

区分	メニュー案
開発段階	・測量、調査、土木工事等の地元発注による地元企業の受注機会の増加 ・管理用道路の整備による交通インフラの向上 (林道整備による林業との共栄)
運営段階	・土地賃貸による土地所有者の収入の増加 ・メンテナンス等の関連産業誘致等による雇用の拡大 (地域の向上・産業との連携) ・草刈等の地域への奉仕活動への参加 ・売電収入の一部を農業振興へ利用 ・植林等による森林保全（イノシシ対策） ・ファン্ড等への参加による地域・市民風車の導入
波及効果	・観光資源化による来訪客の増加 ・環境学習への活用

具体例（先進事例①）

福島県 郡山市（郡山布引高原風力発電所）

郡山布引高原風力発電所は標高 1000m を超える布引高原に位置しており、2MW 基×32 基、1.98MW 基×1 基と国内最大級のウィンドファームである。

布引高原は布引大根の有名な産地であるが、開拓農地を転用して多くの風車を設置することで、土地の収入、地域雇用、エコ観光、インフラ整備などの利点を享受し、風力発電施設と農業の共存が図られている。

布引高原では「郡山布引風の高原まつり」が開催されており、高原に咲くひまわりと風車が共存する景色を楽しむ布引高原ひまわりウォークや布引大根の収穫体験等も行われている。



郡山布引高原風力発電所

出典：郡山市観光協会 HP



郡山布引 風の高原祭りのチラシ

出典：郡山市観光協会 HP

具体例（先進事例②）

北海道 寿都町

北海道寿都町では、寿都温泉ゆべつのゆ風力発電所（230kW×1 基）、寿の都風力発電所（600kW×3 基）、風太風力発電所（1990kW×5 基）が稼働している。風力発電で得られた売電収益は、「山づくり」、「海づくり」、「まちづくり」に積極的に投資されている。

「山づくり」：森林保全活動（植林・植樹活動）、環境維持活動

「海づくり」：磯焼け対策（藻場造成技術の実証実験）

「まちづくり」：寿都診療所運営資金、医学部進学奨学金、通学費補助（運行バス会社への補助）、街灯電気代補助



寿都町における風力発電所の様子

出典：「寿都町における風力発電への取り組み」（環境省）

具体例（先進事例③）

福岡県 みやま市（みやまスマートエネルギー株式会社）

みやまスマートエネルギー株式会社は、福岡県みやま市、株式会社筑邦銀行、九州スマートコミュニティ株式会社の出資によって設立された電力会社であり、エネルギーの地産地消を通して、地域経済活性化を目指している。みやまスマートエネルギー株式会社の特徴は以下のとおり。

- ・地域で生産した電力を地域で消費することで、キャッシュフローを地域内に取り組める。
- ・ピーク電源として発電コストの低い太陽光電源を利用した低コストの電力供給を実現し、その電力料金の削減分を市内の産業育成に充てることで、地域活性化を図る。
- ・電力情報の利活用により地元の新たな雇用創出（コールセンター、医療サポート、介護事業）を行う。



電力調達と供給の基本的な流れ

出典：「みやまスマートエネルギー株式会社設立について」（みやま市 HP）

長崎
西海市西海町
中浦MAP
さいわいをたずねて

さるくまち
西 海
マッヅ。

「どこへ行くのか」ここから遠くローマへ
旅した人もいる。「どこへ行くのか」御園
にはサ化咲き、光あれ。ここは中浦、
さいわいの海となり、山となり、空となる。

イラストMA
タナカタケシ

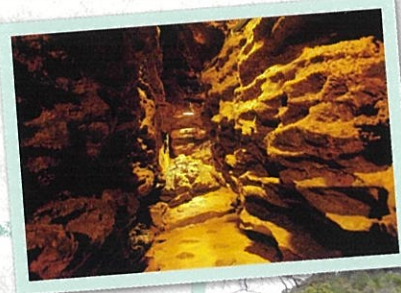
[illegible]

中浦周遊観光（体験等）施設紹介

施設によっては事前に予約が必要です。
ご確認のうえ各施設へお問い合わせ下さい。

国指定天然記念物 セツ釜鍾乳洞

新生代(約3000万年前)の古第三紀層という比較的他の鍾乳洞より新しい時代にできた鍾乳洞で石灰藻を多く含んだ砂岩できているという特色があります。洞内の気温は、年中平均14度。夏は、涼しく過ごせます。洞内の距離は250m。その他、未公開洞800mの探検コース(地底探検ツアー)もある。(要予約)



セツ釜鍾乳洞



セツ釜鍾乳洞事務所

お問い合わせ [住所]長崎県西海市西海町中浦北郷2541-1
[TEL]0959-33-2303 [FAX]0959-33-2306
[HP]NPO法人西海市観光協会http://www.saikaicity.com/

入洞時間 ● 4月～9月 9:00～18:00(受付17:30迄)
● 10月～3月 9:00～17:00(受付16:30迄)

伊佐ノ浦公園

森林浴や自然散策、物作りなど、美しい自然のなかでさまざまな体験が楽しめる伊佐ノ浦公園。公園内では、フィッシングやキャンプもできるほかコテージ、バンガローがありゆっくりと過ごせる。その他、レストラン(レイクサイドレストランkazan)もあるので湖畔を眺めながら食事を楽しめる。

レンタサイクル



体験メニュー

● 木工、竹細工、わら細工、トールペイント
※詳しい内容については、お問い合わせください。
● レンタサイクル、スワンボートもある。

伊佐ノ浦
コテージ・バンガロー施設内
営業時間

● 4月～9月 8:30～17:30
● 10月～3月 8:00～17:00
★レイクサイドレストランkazan … 9:00～17:00
※予約があれば時間外営業可能

お問い合わせ

[住所]長崎県西海市西海町中浦南郷1133-48
● 体験交流センター [TEL・FAX]0959-32-9087
● コテージ・バンガロー [TEL・FAX]0959-37-9511
[HP]http://www.kankousaikaicity.net

中浦ジュリアン記念公園

中浦ジュリアン(1852年誕生)の出生地である西海町中浦地区にある。中浦ジュリアンは、天正遣欧少年使節団の1人として、ローマに渡りローマ法王に謁見し帰国。帰国後も、キリスト教の布教に従事した。公園の1階には、資料展示室がありジュリアンの波乱に満ちた生涯が描かれた壁画がある。そして、階段を上がっていくとそこには「ローマへの道」を指したジュリアン像がある。

中浦ジュリアン像



住所 長崎県西海市西海町中浦南郷

西海里山倶楽部

里山保全活動拠点。田舎体験(田舎畑体験)5000㎡花畑がある。

● 10月コスモス祭り ● 3月下旬 菜の花祭り

また、竹桶の豆腐づくり、学童に対する山の木を使った鉛筆づくりの体験も行っている。

コスモス祭り



竹桶の豆腐づくり



お問い合わせ

[住所]長崎県西海市西海町中浦北郷
[TEL]0959-33-2850 ※要予約

エコヴィレッジ さいかい元氣村

『農的暮らし』の体験拠点。

体験メニュー

● 夏場かぶと虫獲り ● 農作物の苗植え・収穫体験
● エコハウスづくり ● ピザ焼き体験 ● そば打ち体験
● 門松作り ● しいたけの駒打ち体験etc

夏場
かぶと虫獲り

ツリーハウス



さいかい元氣村



道の駅さいかい みかんだーム

みかんだーム



道の駅さいかいみかんだームでは、大人気の手作りジェラードアイスや、西海市の特産品などがたくさん展示販売されています。カフェコーナーがあるので素敵な時間をお過ごし下さい。また、さいかい元氣村・村の菓子工房で作っている「みかんシフォンケーキ」も人気商品です。

施設内
営業時間

● 4月～9月 9:00～18:00
● 10月～3月 9:00～17:00

お問い合わせ

[住所]長崎県西海市西海町木場郷496-1
[TEL・FAX]0959-37-4933
[HP]http://www.saikaicity.com

体験メニュー

手作り体験工房では、本格そば粉を利用したそば打ち体験やパン作り体験があります。※要予約(1週間前まで)

みかん
シフォンケーキ